

令和6年度
外来生物駆除手法等検討業務



誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

積算書

(当初)

九州農政局
農村振興部

[illegible]

九州農政局

[illegible]

[illegible]

業務別業務名:令和6年度外来生物駆除手法等検討業務

[illegible]

[illegible]

業務別業務名:令和6年度外来生物駆除手法等検討業務

九州農政局

[illegible]

[illegible]

事業名	農村振興部
業務名	外来生物駆除手法等検討業務

業務別業務名: 令和6年度外来生物駆除手法等検討業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単- 1号 ***					
S63003	計画準備		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	1.00人				
	5)技師Bの人数	2.00人				
	6)技師Cの人数	2.00人				
	7)技術員の人数	1.00人				
R04004	技師 (A)	1.000	人	57,000	57,000	
R04005	技師 (B)	2.000	人	47,200	94,400	
R04006	技師 (C)	2.000	人	38,400	76,800	
R04007	技術員	1.000	人	33,600	33,600	
	合 計				261,800	算出数量 1.000 式
	単 価		式		261,800	
	*** S単- 2号 ***					
S63003	調査結果の点検取りまとめ及び報告書作成		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	2.00人				
	5)技師Bの人数	3.00人				
	6)技師Cの人数	2.00人				
	7)技術員の人数	2.00人				
R04003	主任技師	1.000	人	64,800	64,800	
R04004	技師 (A)	2.000	人	57,000	114,000	
R04005	技師 (B)	3.000	人	47,200	141,600	
R04006	技師 (C)	2.000	人	38,400	76,800	
R04007	技術員	2.000	人	33,600	67,200	
	合 計				464,400	算出数量 1.000 式
	単 価		式		464,400	
	*** S単- 3号 ***					
S63007	現地踏査		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.50人				
	5)技師Bの人数	0.50人				
	6)技師Cの人数	0.50人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04004	技師 (A) 外業	0.500	人	57,000	28,500	
R04005	技師 (B) 外業	0.500	人	47,200	23,600	
R04006	技師 (C) 外業	0.500	人	38,400	19,200	
	合 計				71,300	算出数量 1.000 式
	単 価		式		71,300	
	*** S単- 4号 ***					

事業名	農村振興部
業務名	外来生物駆除手法等検討業務

業務別業務名: 令和 6 年度外来生物駆除手法等検討業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
S63007	現地踏査の移動に係る人件費		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業)			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 主任技術者の人数	0.00 人		豪雪補正: なし	亜熱帯補正: なし	
	2) 技師長の人数	0.00 人		基本給時間: 8.0	超勤時間: 0.0	
	3) 主任技師の人数	0.00 人		深夜時間: 0.0		
	4) 技師 A の人数	0.50 人				
	5) 技師 B の人数	0.50 人				
	6) 技師 C の人数	0.50 人				
	7) 技術員 の人数	0.00 人				
R04004	技師 (A) 外業	0.500	人	57,000	28,500	
R04005	技師 (B) 外業	0.500	人	47,200	23,600	
R04006	技師 (C) 外業	0.500	人	38,400	19,200	
	合 計				71,300	算出数量 1,000 式
	単 価		式		71,300	
	*** S 単 - 5 号 ***					
S63007	駆除作業(任意, トラップ, 計測, 殺処分)6回		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業)			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 主任技術者の人数	0.00 人		豪雪補正: なし	亜熱帯補正: なし	
	2) 技師長の人数	0.00 人		基本給時間: 8.0	超勤時間: 0.0	
	3) 主任技師の人数	0.00 人		深夜時間: 0.0		
	4) 技師 A の人数	0.00 人				
	5) 技師 B の人数	9.60 人				
	6) 技師 C の人数	5.40 人				
	7) 技術員 の人数	11.40 人				
R04005	技師 (B) 外業	9.600	人	47,200	453,120	
R04006	技師 (C) 外業	5.400	人	38,400	207,360	
R04007	技術員 外業	11.400	人	33,600	383,040	
	合 計				1,043,520	算出数量 1,000 式
	単 価		式		1,043,520	
	*** S 単 - 6 号 ***					
S63007	アメリカザリガニ駆除作業に係るデータ整理等		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業)			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 主任技術者の人数	0.00 人		豪雪補正: なし	亜熱帯補正: なし	
	2) 技師長の人数	0.00 人		基本給時間: 8.0	超勤時間: 0.0	
	3) 主任技師の人数	0.00 人		深夜時間: 0.0		
	4) 技師 A の人数	1.00 人				
	5) 技師 B の人数	2.50 人				
	6) 技師 C の人数	5.00 人				
	7) 技術員 の人数	5.00 人				
R04004	技師 (A) 外業	1.000	人	57,000	57,000	
R04005	技師 (B) 外業	2.500	人	47,200	118,000	
R04006	技師 (C) 外業	5.000	人	38,400	192,000	
R04007	技術員 外業	5.000	人	33,600	168,000	
	合 計				535,000	算出数量 1,000 式
	単 価		式		535,000	
	*** S 単 - 7 号 ***					
S63007	駆除作業の移動に係る人件費		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業)			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 主任技術者の人数	0.00 人		豪雪補正: なし	亜熱帯補正: なし	
	2) 技師長の人数	0.00 人		基本給時間: 8.0	超勤時間: 0.0	

事業名	農村振興部					
業務名	外来生物駆除手法等検討業務					
業務別業務名: 令和6年度外来生物駆除手法等検討業務						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.00人				
	5)技師Bの人数	0.50人				
	6)技師Cの人数	0.50人				
	7)技術員の人数	0.50人				
R04005	技師 (B)					
	外業	0.500	人	47,200	23,600	
R04006	技師 (C)					
	外業	0.500	人	38,400	19,200	
R04007	技術員					
	外業	0.500	人	33,600	16,800	
	合 計				59,600	算出数量 1.000 式
	単 価		式		59,600	
	*** S単- 8号 ***					
S63010	打合せ(着手前・最終)		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	打合せ (設計業務基準日額)			時間的制約:なし	制約作業時間:0.0	
	一般工種, 着手前・最終, 1.00人, 1.00人, 0.00人, 0.00人, 0.5日, 0.08			夜間制約作業時間:0.0	冬期補正:なし	
	日			豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
				基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	1)設計工種	一般工種		深夜時間:0.0		
	2)打合せ	着手前・最終				
	3)設計用主任技師人数	1.00人				
	4)設計用技師(A)人数	1.00人				
	5)設計用技師(B)人数	0.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.080日				
R04003	主任技師	0.580	人	64,800	37,584	
R04004	技師 (A)	0.580	人	57,000	33,060	
	合 計				70,644	算出数量 1.000 回
	単 価		回		70,644	
	*** S単- 9号 ***					
S63010	打合せ(中間)		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	打合せ (設計業務基準日額)			時間的制約:なし	制約作業時間:0.0	
	一般工種, 中間, 0.00人, 1.00人, 1.00人, 0.00人, 0.5日, 0.08日			夜間制約作業時間:0.0	冬期補正:なし	
	1)設計工種	一般工種		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)打合せ	中間		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)設計用主任技師人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)設計用技師(A)人数	1.00人				
	5)設計用技師(B)人数	1.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.080日				
R04004	技師 (A)	0.580	人	57,000	33,060	
R04005	技師 (B)	0.580	人	47,200	27,376	
	合 計				60,436	算出数量 1.000 回
	単 価		回		60,436	
	*** S単- 10号 ***					
S63011	打合せ旅費交通費(日帰り・着手前・最終)		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	打合せ (設計旅費・交通費)			時間的制約:なし	制約作業時間:0.0	
	一般工種, 着手前・最終, 通勤により打合せ,,, 一般交通機関, 0日,, L<100km (100km未満)			夜間制約作業時間:0.0	冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
				基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	1)設計工種	一般工種		深夜時間:0.0		
	2)打合せ内容	着手前・最終				
	3)主任技師配置人員	1人				
	4)技師A配置人員	1人				
	5)技師B配置人員	0人				
	6)技師C配置人員	0人				
	7)打合せ日数	0.50日				
	8)往復移動日数	0.08日				
	9)宿泊区分	通勤により打合せ				
	12)交通機関区分	一般交通機関				

事業名	農村振興部					
業務名	外来生物駆除手法等検討業務					
業務別業務名: 令和 6 年度外来生物駆除手法等検討業務						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	13) 高速道路往復料金 (税別)	0円				
	14) 鉄道往復1人当料金 (税別)	328円				
	15) バス往復1人当料金 (税別)	0円				
	16) 船舶往復1人当料金 (税別)	0円				
	17) 航空往復1人当料金 (税別)	0円				
	18) ライトバン使用日数	0日				
	20) 往復移動距離区分	L < 100km (100km未満)				
P54306	鉄道料金					
	消費税抜き	2. 000	人	328	656	
	合 計				656	算出数量 1. 000 回
	単 価		回		656	
	*** S 単一 11号 ***					
S63011	打合せ旅費交通費(日帰り、中間)		回		1. 000 回	歩A 当たり算出
	打合せ (設計旅費・交通費)			時間的制約: なし	制約作業時間: 0. 0	
	一般工種, 中間, 通勤により打合せ,,, 一般交通機関, 0日,, L < 100km			夜間制約作業時間: 0. 0	冬期補正: なし	
	(100km未満)			豪雪補正: なし	亜熱帯補正: なし	
				基本給時間: 8. 0	超勤時間: 0. 0	
	1) 設計工種	一般工種		深夜時間: 0. 0		
	2) 打合せ内容	中間				
	3) 主任技師配置人員	0人				
	4) 技師 A 配置人員	1人				
	5) 技師 B 配置人員	1人				
	6) 技師 C 配置人員	0人				
	7) 打合せ日数	0. 50 日				
	8) 往復移動日数	0. 08 日				
	9) 宿泊区分	通勤により打合せ				
	12) 交通機関区分	一般交通機関				
	13) 高速道路往復料金 (税別)	0円				
	14) 鉄道往復1人当料金 (税別)	328円				
	15) バス往復1人当料金 (税別)	0円				
	16) 船舶往復1人当料金 (税別)	0円				
	17) 航空往復1人当料金 (税別)	0円				
	18) ライトバン使用日数	0日				
	20) 往復移動距離区分	L < 100km (100km未満)				
P54306	鉄道料金					
	消費税抜き	2. 000	人	328	656	
	合 計				656	算出数量 1. 000 回
	単 価		回		656	
	*** S 単一 12号 ***					
S63017	駆除作業旅費交通費		式		1. 000 式	歩A 当たり算出
	旅費交通費 (設計外業宿泊用)			時間的制約: なし	制約作業時間: 0. 0	
	乙地, ライトバン, 0. 50 日, 2 日, 2時間, なし, 100km ≦ L (100km以上)			夜間制約作業時間: 0. 0	冬期補正: なし	
	1) 宿泊地	乙地		豪雪補正: なし	亜熱帯補正: なし	
	2) 交通機関区分	ライトバン		基本給時間: 8. 0	超勤時間: 0. 0	
	3) 高速道路往復料金 (税別)	5, 708円		深夜時間: 0. 0		
	4) 鉄道往復料金[全員分合算] (税別)	0円				
	5) バス往復料金[全員分合算] (税別)	0円				
	6) 船舶往復料金[全員分合算] (税別)	0円				
	7) 航空往復料金[全員分合算] (税別)	0円				
	8) 往復移動日数	0. 50 日				
	9) ライトバン使用日数	2日				
	10) 時間区分	2時間				
	11) 補正区分	なし				
	12) 技師長外業日数	0. 000 日				
	13) 主任技師外業日数	0. 000 日				
	14) 技師 A 外業日数	0. 000 日				
	15) 技師 B 外業日数	1. 600 日				
	16) 技師 C 外業日数	0. 900 日				
	17) 技術員外業日数	1. 900 日				
	18) 往復移動距離区分	100km ≦ L (100km以上)				
P54204	設計用技師 (B) 日当					
	消費税抜き	2. 000	人	1, 000	2, 000	
P54205	設計用技師 (C) 日当					
	消費税抜き	2. 000	人	1, 000	2, 000	
P54206	設計用技術員日当					
	消費税抜き	2. 000	人	773	1, 546	
P54004	設計用技師 (B) 宿泊費					
	(乙地) 消費税抜き (4 級相当)	1. 000	人	8, 909	8, 909	
P54005	設計用技師 (C) 宿泊費					
	(乙地) 消費税抜き (3 級相当)	1. 000	人	8, 909	8, 909	
P54006	設計用技術員宿泊費					
	(乙地) 消費税抜き (2 級相当)	1. 000	人	7, 090	7, 090	

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
P54113	外業の滞在日額旅費 3 級相当以上 宿泊現地到着の翌日より29日目まで	1.000	人	8,354	8,354	
P54112	外業の滞在日額旅費 2 級相当以下 宿泊現地到着の翌日より29日目まで	1.000	人	6,736	6,736	
P54301	高速道路等料金 消費税抜き	1.000	式	5,708	5,708	
M28121	ライトバン[ガソリンエンジン・二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	2.000	日	1,650	3,300	
P34001	ガソリン J I S 2 号 レギュラースタンド	10.800	L	157	1,696	
	合 計				56,248	算出数量 1.000 式
	単 価		式		56,248	
	*** S 単- 13号 ***					

S63023	成果品作成費		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	電子納品版業務報告書作成 1, A - 4, 600, 8cm, 0			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 報告書部数 (部) 2) 規格区分	1.000 A - 4		豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
	3) 枚数区分 (枚) 4) 厚さ区分	600 8cm		深夜時間: 0.0		
	5) CD-R枚数 (枚)	0.000				
P43438	報告書焼付代 (コピー) A - 4 以下 600枚	1.000	部	7.650	7.650	

九州農政局

[illegible]

令和6年度

外来生物駆除手法等検討業務

特別仕様書

九州農政局 農村振興部 農村環境課

第1章 総則

第1－1条（適用範囲）

令和6年度外来生物駆除手法等検討業務の実施に当たっては、農林水産省農村振興局制定「設計業務共通仕様書」（以下「共通仕様書」という。）によるほか、同仕様書に対する特記事項及び追加事項は、この特別仕様書による。

第1－2条（目的）

本業務は、ため池等農業水利施設及び生態系に被害を及ぼすアメリカザリガニの生息状況を把握し、農業用水運用や生物生息状況等に応じたアメリカザリガニの駆除手法及び駆除による環境再生に係る評価手法、施設改修・更新の際の対策手法等を体系的に整理し、取りまとめるための基礎データを収集し、適切な手法等を検討するものである。

第1－3条（場所）

業務位置は、福岡県福津市内の農業用ため池であり、別紙1及び2に示すとおりである。

第1－4条（一般事項）

業務請負契約書及び共通仕様書に示す以外の一般事項は、次のとおりである。

- （1）土地の踏み荒らし、立木伐採、観測施設の破損等に対する補償は、受注者の責任において処理するものとする。なお、現地立入りにあたっては、監督職員等に連絡を取った後、作業に着手するものとする。
- （2）受注者は常に業務内容を把握し、業務中であっても監督職員が資料の提出を求めたときは、速やかにこれに応じるものとする。

第1－5条（管理技術者）

- 1 管理技術者は、共通仕様書第1－6条第3項によるものとし、農業土木技術管理士以外の資格に係る該当する技術部門・選択科目は次のとおりである。

資 格	技術部門	選択科目
技術士	総合技術監理部門	農業－農業土木、農業－農村環境、農業－農業農村工学、農業－農村地域・資源計画、環境－環境保全計画、環境－自然環境保全、環境－環境影響評価、建設－建設環境
	農業部門	農業土木、農村環境、農業農村工学、農村地域・資源計画
	環境部門	環境保全計画、自然環境保全、環境影響評価
	建設部門	建設環境
RCCM (シビルコンサルティングマネージャ)	農業土木	
	建設環境	
博士	当該業務に関連する学術部門	

※技術士は国家資格(文部科学省所管)、RCCMは民間資格(国土交通省所管)となる。

- 2 別紙3に記載されている割合を予定価格に乗じて求めた価格を下回る価格で契約し

た場合においては、管理技術者は屋外で行う調査の実施に際して現場に常駐するとともに、作業日毎に業務の内容を監督職員に報告しなければならない。

なお、管理技術者が現場での常駐場所を定めた場合、あるいは変更した場合は監督職員に報告することとする。

第 1－6 条（配置技術者の確認）

共通仕様書第 1－11 条における業務組織計画の作成及び共通仕様書第 1－12 条に基づく技術者情報の登録にあたっては、次によるものとする。

- （１）受注者は、業務計画書の業務組織計画に配置技術者の所属・役職及び担当する分担業務を明確に記載するものとする。なお、変更業務計画書において、業務組織計画を変更する際も同様とする。
- （２）農業農村整備事業測量調査設計業務情報サービスへの技術者情報の登録は、業務計画書の業務組織計画において位置づけられた技術者を登録対象とする。

第 1－7 条（保険加入）

受注者は、共通仕様書第 1－37 条に示されている保険に加入している旨を業務計画書に明示しなければならない。また、監督職員からの請求があった場合は、保険加入を証明する書類を提示しなければならない。

第 2 章 作業内容

第 2－1 条（業務項目及び数量）

本業務における業務項目及び数量は、次のとおりである。

なお、詳細は第 2－2 条（業務内容）に示すものとする。

業 務 項 目	数 量	備 考
1. 計画準備	1 式	
2. 現地踏査	1 式	
3. 生物多様性保全対策の実証調査	1 式	
4. 調査結果の点検取りまとめ及び報告書作成	1 式	

第 2－2 条（業務内容）

（１）計画準備

第 4 章第 4－1 条による第 1 回打合せの前に、業務計画の作成及び調査準備を行う。

（２）現地踏査

発注者と受注者が合同で現地踏査を行い、具体的な生物調査の実施地点等を定める。
実施時期及び実施回数は、生物多様性保全対策の実証調査前の 1 回とする。

（３）生物多様性保全対策の実証調査

1) アメリカザリガニの駆除作業

前掲（２）現地踏査における調査結果を踏まえ、アメリカザリガニの駆除作業を実施する。

2) アメリカザリガニ駆除の作業内容

ア 駆除時期

7月～10月の間

イ 調査回数

6回

ウ 駆除方法

下表1のとおり任意採集及びトラップ採集の併用により採集を行う。

表1 駆除作業の実施方法、作業量、地点数

駆除作業	実施方法	捕獲努力量
任意採集	タモ網、サデ網	1地点あたり3人で30分間 (3地点)
トラップ採集	あなごカゴ	15個設置し、翌日回収
	連続捕獲装置	5個設置し、次回作業時(1～2週間後を目途)に回収

【任意採集】

- ・タモ網、サデ網を使用し、アメリカザリガニの生息の可能性が高い浅瀬、植生のあるところ等において採捕を行う。
- ・作業範囲は胴長で立ち入り可能な範囲とする。
- ・任意採集の地点は、現地踏査の結果を考慮の上、決定する。

【トラップ採集】

- ・あなごカゴ、連続捕獲装置を用い、アメリカザリガニの生息の可能性が高い浅瀬、植生のあるところ等に設置し、設置の翌日(連続捕獲装置は次の回)に引き上げ個体を採捕する。
- ・あなごカゴ、連続捕獲装置は発注者が準備する。
- ・現場の状況により任意採集を減じる場合には、トラップ採集を増やすなど適宜調整するが、最終的に適切なトラップ設置場所の選定も駆除手法の要素の一つとなるため、できるだけ調査期間中のトラップ設置箇所を固定する。
- ・トラップの設置地点は、現地踏査の結果を考慮の上、決定する。

エ 採捕個体の計測、写真撮影

採捕後は、採捕場所、方法別に、デジタルノギスを用いて、頭胸甲長(眼窩一頭胸甲長; OCL)を0.1mm単位で計測、雄・雌(抱卵有無、抱稚ザリ有無)に区分して個体数を記録し、殺処分する。

なお、採捕場所、方法別に100を超える個体が採捕された場合には、総数を記録した上で、100個体を上限に上記に示した方法で計測、記録を行う。また、任意採集及びトラップ採集の状況や捕獲状況が分かる写真撮影を行う。

オ データ整理

上記のウ及びエに係るデータ整理については、受注者で整理を行う。

(4) 調査結果の点検取りまとめ及び報告書作成

(3) の調査結果について整理を行い、別途農林水産本省が発注する調査事業の有識者委員会等での指導・助言の下で、農業用水運用や生きものの生息状況等に応じた外来生物の駆除方法、外来生物駆除による環境再生に係る評価と課題等について考察を行う。
また、報告書の要点を簡潔にまとめた要約版も作成する。

第3章 参考図書及び貸与資料

第3-1条 (参考図書)

参考図書は次表のとおりとする。

番号	業務名	数量	備考
1	アメリカザリガニ対策の手引き(環境省、令和5年4月改定)	一式	

第3-2条 (貸与資料)

貸与資料は次表のとおりとする。

番号	業務名	数量	備考
1	令和5年度 外来生物駆除手法等検討業務 報告書	一式	
2	その他業務実施上、監督職員が必要と認める資料	一式	

第3-3条 (貸与資料の取扱い)

第3-2条に示す貸与資料の取扱いは、次のとおりとする。

- (1) 貸与資料は、原則として複写転載を禁ずるとともに、その取扱いは十分留意しなければならない。
- (2) 貸与資料の使用に当たっては、その適用について監督職員の指示を受けるものとする。
- (3) 使用する図書及び貸与資料の記載事項で相互に矛盾がある場合や、解釈に疑義が生じた場合は、監督職員と協議する。
- (4) 貸与資料は、原則として初回打合せ時に一括貸与するものとし、監督職員の請求があった場合のほか、完了検査時に一括返納しなければならない。

第4章 打合せ

第4-1条 (打合せ)

本業務の打合せは3回とし、原則として以下の時期に行う。

また、着手時及び最終回の打合せには管理技術者が出席するものとする。

なお、業務を適正かつ円滑に実施するために、受注者は毎回業務打合せ記録簿を作成し、打合せの都度、内容について監督職員と相互に確認する。

ただし、別紙3に記載されている割合を予定価格に乗じて求めた価格を下回る価格で契約した場合においては、上記に定める打合せを含め、受注者の責により管理技術者の立ち会いの上で打合せ等を行うこととし、設計変更の対象とはしない。その際、管理技術者は、共通仕様書第1-11条に定める業務計画書に基づく業務工程等の管理状況を報告しなければならない。

第1回 業務着手段階(業務実施方針に係る打合せ 熊本市)

第2回 業務中間段階(駆除調査結果の整理段階での打合せ 熊本市)

第3回 業務最終段階(報告書の最終取りまとめに係る打合せ 熊本市)

第5章 成果物

第5－1条（成果物）

共通仕様書に基づき提出する成果物は、以下に示すとおりである。

区 分	規 格	部 数
報告書	A-4 版	1 部
電子成果物	CD-R 又は DVD-R	正 1 部、副 1 部
調査結果の要約	A-4 版	1 部

なお、電子媒体についてはウイルス対策を行うこととし、ウイルス対策に関する情報（ウイルス対策ソフト名、ウイルス定義、チェック年月日）を記載したラベルを貼り付けること。また、ウイルス対策ソフトは信頼性が高く、かつ、最新のデータに更新したものを使用すること。また、成果物の出力については、チューブファイル等に綴じ、業務名、年月、受注業者名を表紙及び背表紙に記載する。

第5－2条（成果物の提出先等）

成果物の提出先は、次に示すとおりとする。

〒860-8527 熊本県熊本市西区春日 2 丁目 10 番 1 号熊本地方合同庁舎
九州農政局農村振興部農村環境課環境保全係

第6章 契約変更

第6－1条（契約変更）

業務請負契約書第 17 条から第 20 条に規定する発注者と受注者による協議事項は、次のとおりとする。

- （1）第 2－1 条に示す、「業務項目及び数量」に変更が生じた場合。
- （2）第 4－1 条に示す、「打合せ」に変更が生じた場合。
- （3）第 5－1 条に示す、「成果物」に変更が生じた場合。
- （4）履行期間の変更が生じた場合。
- （5）その他

第7章 その他

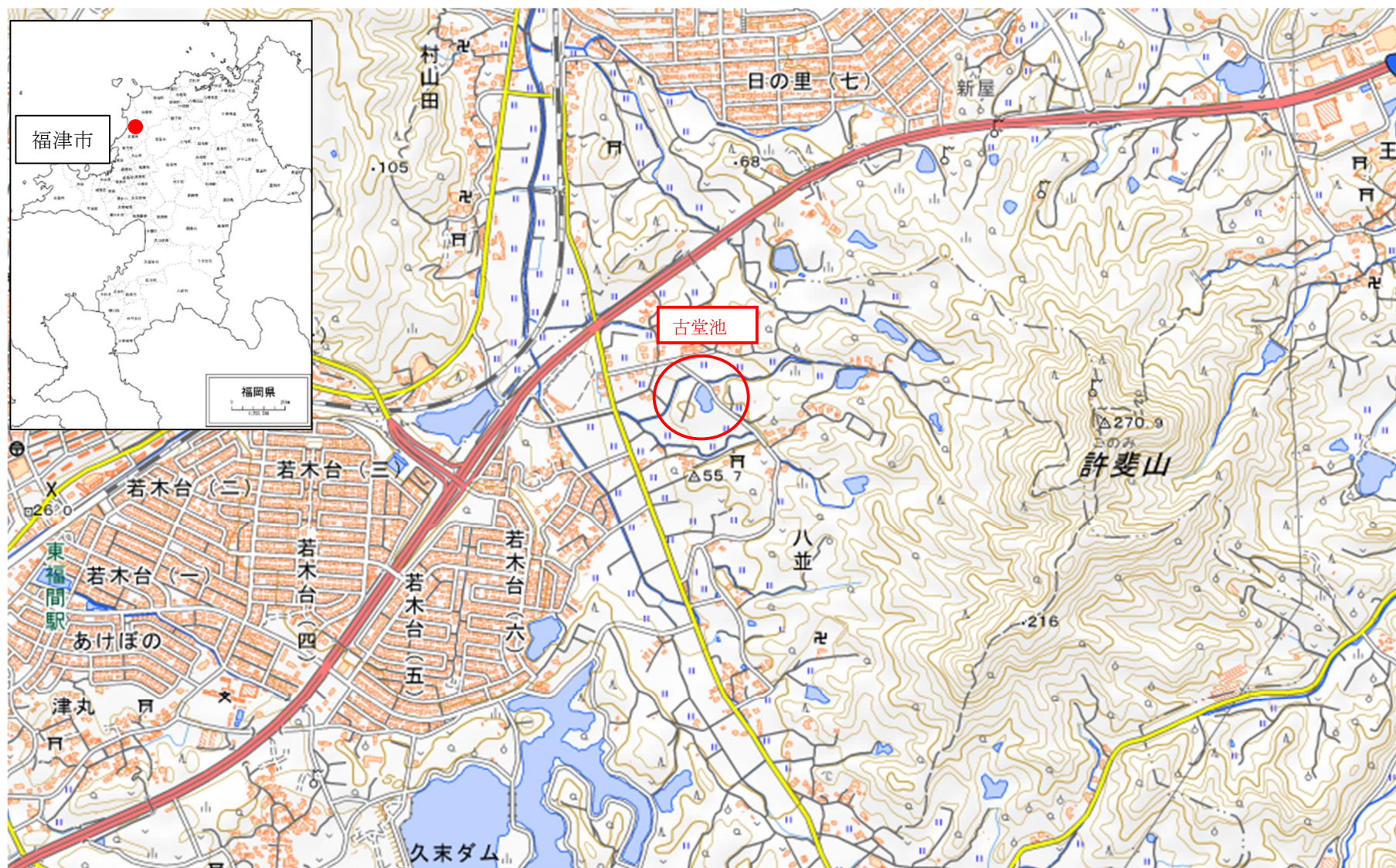
第7－1条（守秘義務）

- （1）受注者は、業務の過程で知り得た秘密を第三者に漏らしてはならない。
- （2）受注者は、当該業務の結果を他人に閲覧させ、複写させ、又は譲渡してはならない。
- （3）受注者は、発注者から貸与された情報その他知り得た情報を当該業務の遂行以外の目的に使用してはならない。
- （4）受注者は、当該業務に関して発注者から貸与された情報、その他知り得た情報を当該業務の終了後においても他者に漏らしてはならない。
- （5）受注者は、当該業務完了後に、提供された資料・電子データ及び作成した電子データの破棄及び消去を確実に行うこと。

第7－2条（定めなき事項）

この特別仕様書に定めなき事項またはこの業務に当たり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

別紙1 調査位置図



地理院地図（電子国土 Web）（国土地理院）を加工して作成

別紙 2 福津地区 古堂池



地理院地図（電子国土 Web）（国土地理院）を加工して作成

- ① 古堂池
福岡県福津市八並
貯水量 6.8 千 m^3 、受益地 4 ha
湛水面積 約 2.0 千 m^2

別紙 3 （第 1－5 条、第 4－1 条関連）

【割合】

予定価格算出の基礎となった同表 A～D までに掲げる額の合計額に 100 分の 110 を乗じて得た額を予定価格で除して得た割合とする。ただし、その割合が 10 分の 8 を超える場合にあっては 10 分の 8 とし、10 分の 6 に満たない場合にあっては 10 分の 6 とする。

業種区分	A	B	C	D
建設コンサルタント業務	直接人件費の額	直接経費の額	その他原価の額に 10 分の 9 を乗じて得た額	一般管理費等の額に 10 分の 4.8 を乗じて得た額